

## 第 6 章 県民総ぐるみの子育て支援

### 第 1 節 社会全体で子育てを応援する機運の醸成

#### 【現状と課題】6-1

平成 18 年度から、子育てを応援する機運を高め、子ども・子育てにやさしい社会づくりを推進するため、「ながさき子育て応援の店事業」を推進しています。

平成 27 年度から、子どもを産み育てやすい環境を整備するため、子育てを応援するポータルサイトを開設して情報発信を行っています。

平成 29 年度から、長崎県青少年育成県民会議と連携し、子育てを社会全体で応援するフリーマガジン「ココロン」を発行しています。

子育てしやすい長崎県づくりに向け、多様な主体を巻き込みながら、社会全体で子育てを応援する機運を醸成することが必要です。

#### 【具体的施策】6-1

「ながさき子育て応援の店事業」を推進し、協賛店舗のさらなる拡大と、子育て世代に提供するサービスの一層の充実を図ります。  
(こども未来課)

ポータルサイトや SNS を活用し、スマートフォン対応など子育て世代の実情やニーズに応じた情報提供を行います。  
(こども未来課)

フリーマガジン「ココロン」により、子育てを応援する企業・団体等の情報を発信し、企業・団体の一層の参画を促進します。  
(こども未来課)

若者、企業・団体、市町等と連携した子育て応援の取組や、効率的・効果的な情報発信により、社会全体で子育てを応援する機運を醸成します。  
(こども未来課)

#### 【数値目標】6-1

数 値 目 標	基 準 値		目 標 値	
	年度		年度	
「ながさき子育て応援の店」 協賛店舗の登録件数	R3	1,263 件	R6	2,600 件

## 第 2 節 ココロねっこ運動 の推進

### 【現状と課題】6-2

平成 13 年度から、子どもたちの心の根っこを育てるために大人のあり方を見直す県民運動として「ココロねっこ運動」を推進しています。

平成 17 年度に、痛ましい少年事件が連続して発生したことを受け、県民一人ひとりが身近な問題として受け止め、行動してほしいという願いから、「長崎っ子を育む県民会議」が発足し、具体的取組をまとめた「長崎っ子を育む行動指針」が策定されました。現在は最重点項目として「ココロねっこ 10 (テン)」の推進を図っています。

ココロねっこ運動の輪を広げるため、各団体の運動登録を推進しており、平成 30 年度末には 5,953 団体が登録しています。

ココロねっこ運動の地道で着実な推進を図るため、地域主導の普及啓発活動を進める必要があります。

### 【具体的施策】6-2

ココロねっこ運動を推進し、県民総ぐるみで、子どもが夢や希望を持って健やかに成長できる環境を整備し、安心して子どもを生み育てることのできる社会の実現を目指します。

- ・「長崎っ子を育む行動指針」の最重点項目「ココロねっこ 10 (テン)」の普及実践に努めます。
- ・県、市町、県青少年育成県民会議及び市町民会議の連携によるネットワークづくりを推進します。
- ・地域主導のココロねっこ運動の推進を図るため、各市町担当者、ココロねっこ指導員、ココロねっこ推進員による組織作りを進め、具体的実践、広報啓発、組織の資質向上のための研修会を実施します。
- ・義務教育課、生涯学習課と連携強化を図り、家庭、学校、地域が一体となったココロねっこ運動の取組を進めます。
- ・自治会や子ども会などの団体による子どもを見守る活動や子育て支援の取組を促進します。
- ・県、市町、各種団体の広報媒体を活用した広報活動を推進します。
- ・報道機関に対して、地域での先進的、特徴的取組などについて積極的に情報を提供します。
- ・長崎県青少年育成県民会議と連携し、ココロねっこ運動啓発のための活動を実施します。

【2-3-1、2-3-2-(1)、3-1-2、6-2 掲載】(こども未来課)

## 【数値目標】6-2

数 値 目 標	基 準 値		目 標 値	
	年度		年度	
ココロねっこ指導員等による講習会の受講者数	H30	22,726 名	R6	23,000 名
ココロねっこ運動登録団体数（累計）	H30	5,953 団体	R6	6,460 団体

## 第 3 節 家庭の日の普及

## 【現状と課題】6-3

家族そろっての団らんの機会を増やすことによって、愛情と信頼に結ばれた温かい家族関係を育てる契機とするため、毎月第 3 日曜日を「家庭の日」と定め、昭和 56 年から提唱してきました。近年、核家族化や少子化の進行、ライフスタイルの変化など、社会環境の急激な変化は家族のあり方に大きな影響を与えており、今後、家族のふれあいの機会が不足しがちになることも懸念されます。

## 【具体的施策】6-3

毎月第 3 日曜日を標準として毎月 1 回「家庭の日」を定めて、家族のきずなを深めるように努めることについて、県民への周知啓発を行います。

（こども未来課）

各市町及び長崎県青少年育成県民会議と連携し、「家庭の日」普及のための広報活動に努めます。

（こども未来課）

## 【数値目標】6-3

数 値 目 標	基 準 値		目 標 値	
	年度		年度	
家庭の日ワークショップの参加者数	R1	368 人	R6	400 人